

# 「秘かなブームご当地ナンバー」

原動機付き自転車ナンバーデザイン変更に  
関する提言書

平成24年7月27日

一般社団法人つくば青年会議所

## 1. 原動機付き自転車ナンバーデザイン変更に関する提言

2007年つくば市政20周年の節目に国際都市という観点から、海外の方々にも認知しやすいようにと、ローマ字表記のTSUKUBAナンバーが導入されたと聞いています。そこで、一般社団法人つくば青年会議所「駅前活性化委員会」では、原動機付き自転車に動く広告塔としての価値を付加する為の提言をさせていただきます。ご当地ナンバーのデザインを市民の方々に公募することで、広く周知させる効果と郷土の特色を活かしたナンバーが市内を走行することで、自然発生的な郷土への愛着の発生が望めると考えます。

つくば市は、国際都市・研究学園都市という大きな看板の他にも、筑波大学を擁する学生の街でもあります。毎年、二千数百名の新生が県内各地はもとより全国から集って参ります。学生の多くは移動手段として車や自転車の他に原動機付き自転車も多く活用されています。そこで、魅力溢れるデザインのご当地ナンバーを制作することにより、これまでナンバーの変更をしてこなかった若者へのアプローチも可能になるのではないかと考えます。定置場課税の原則からも、若い世代の人たちに啓蒙も兼ねたPRを行い、より多くの学生に「つくばナンバー」への変更を促します。

また、環境という視点に立った時にCO2排出削減を進める手段の一つとして、低燃費でクリーンという特性のEVバイク（原付1種・2種）は環境負荷の少ない近距離移動手段として有望な選択肢になりえます。つくば・研究学園という二つの駅を中心に広がりを見せる都市空間でのインフラ整備を進めることで、低炭素社会への貢献と渋滞緩和の効果が期待できます。

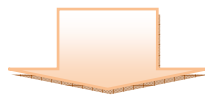
2007年に一度デザインの変更はなされていますが、本年は市政25周年を迎えます。四半世紀という記念すべきこの節目の年に、市民の方々に愛着を持っていただく魅力溢れる当地ナンバーへの変更を提言致します。

## 2・意見・要望及び提言

原動機付き自転車ナンバーデザイン変更について

【意見・要望】

2007年に現在のナンバープレートに変更され、ローマ字でTSUKUBAの文字が入りました。しかし、他地域のオリジナルナンバープレートと比較すると、インパクト・オリジナルティにあふれるナンバーとは言えないと思います。また、地方からつくばにきている学生等で他地域のナンバープレートで走行していると思われる原動機付き自転車が多数見受けられます。税金の面から見ても、変更を促せる良い機会になると考えます。そこで、つくば市の更なる知名度向上を目指し、つくば市の動く広告塔として原動機付き自転車のナンバーデザインの変更をしてほしい

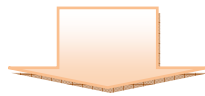


【提言】

多くの方々に興味を持って貰えるインパクトとオリジナルティ溢れるナンバーに変更する必要がある

【意見・要望】

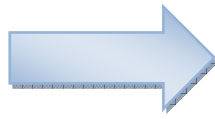
ナンバー変更に伴い、新ナンバーの公募を行っていただきたい。  
ナンバーを市民の方々に公募する事により広く周知して頂く。またつくば市民から公募する事により、つくばに対する、郷土愛が育まれると考えます。



【提言】

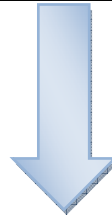
新ナンバーを広く周知して頂く為にも公募を行う必要がある

3・ナンバーの比較



2007に変更されローマ字で  
TSUKUBAの文字が入った。

公募により変更



新ナンバー（イメージ）

### 他地域のオリジナルナンバー



## ご当地ナンバーから 環境配慮した交通へ



- 国内のCO2総排出量のうち、自動車などの運輸交通によるものは約20%を占めており、この分野のCO2削減を喫緊の課題としている。  
そこでご当地ナンバーのピーアールを含めて、元々自動車よりも環境性能の良い乗り物である原動機付自転車の『環境に優しい乗り物』を街づくりに電動バイク(EV-BIKE)の普及拡大へつなげよう

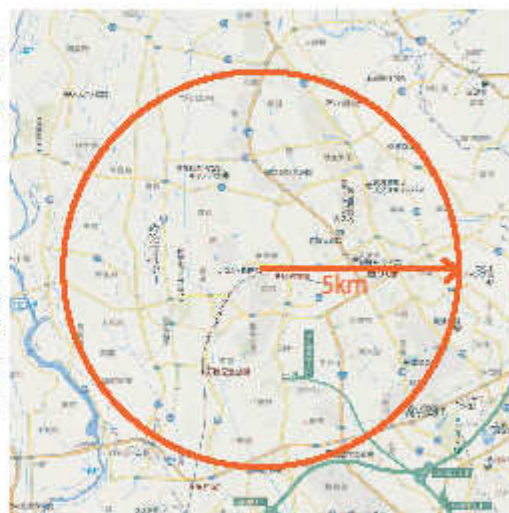
## 電動バイク(EV-BIKE)という選択

- 100%電気だけで走る移動手段  
「低燃費・低価格・省スペース」という二輪車の特性に、「スマート・クリーン・サイレント」という電動の特性を加えたEV二輪は、まさに近距離移動のジャストフィット・ソリューション。  
インフラ整備やその活用方法まで、地球にやさしい街づくりへとつながります。



## 次世代の街づくり~スマートシティ~

- 球温暖化、都市の交通渋滞、過疎化など、様々な問題がクローズアップされる昨今、次世代の都市づくりが模索されています。その中のひとつの考え方が、  
**都市機能の集中化＝**  
**スマートシティ化と分散化**  
学校・病院・商業などの都市機能は街中心部に集中させ、一方、総合運動施設などを隣接都市で共用するなど、施設配置を適切に集中・分散させること。  
そこで有効なのが電動バイクです  
短距離移動に最適



半径5km 都市部の短距離移動範囲